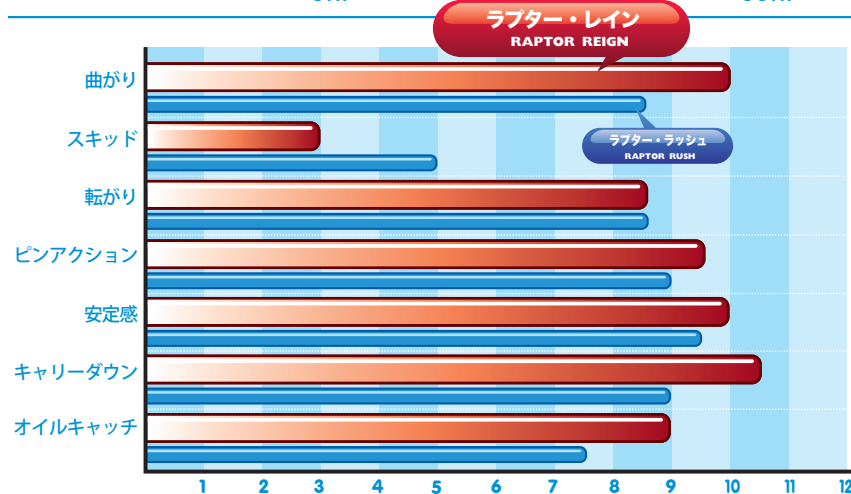
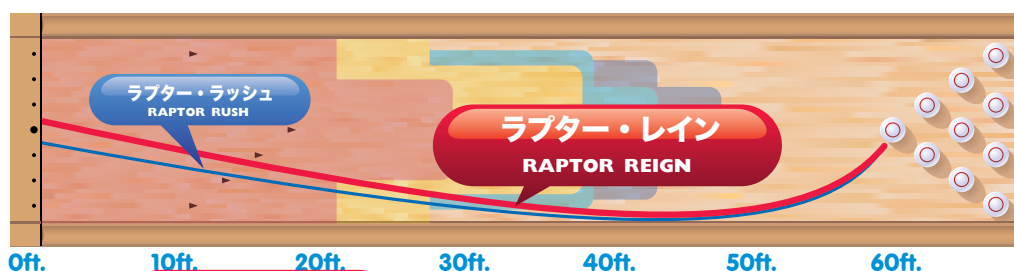
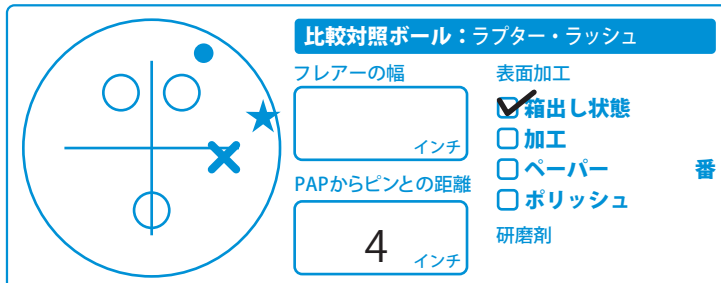
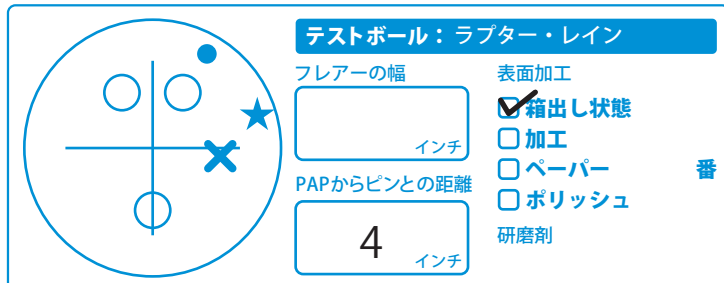


ボールの特性レポート BALL REPORT



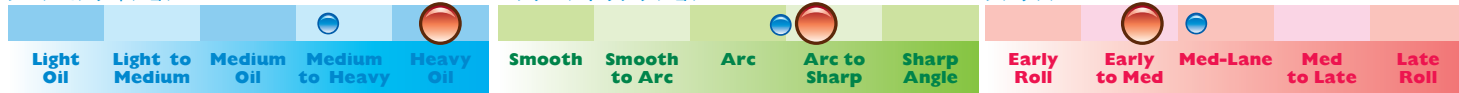
ボール名	ラプター・レイン		投球者	徳江 和則	センター	平和島スターボウル
RG	2.480	△RG	0.055	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール		



レーンコンディション

バックエンドリアクション

レンジ



ボールの評価

MOTIV社が誇るフラッグシップシリーズ「RAPTOR」に、待望の最新作《RAPTOR RAIGN》が登場。前作「RAPTOR RUSH」がもたらした滑らかな走りやミッドレーンでの粘り強さをさらに強化し、よりヘビーなオイル環境での支配力を追求したのが本作です。レーン上のオイル量が増し、キャリーダウンによる不確実性が高まる現代のトーナメント環境において、RAPTOR RAIGNは“変化するレーンを制するための武器”として新たな進化を遂げました。

最大の特徴は、新搭載されたLeverage MXV Solid Reactiveカバーストック。RAPTOR RUSHで採用されたPropulsion FYJ Pearl Reactiveと比較すると、キャッチ力とトラクション性能が格段に向上しており、キャッチを先行させても安定したミッドレーンの読みやすさを確保している点は秀逸です。従来のRUSHが「粘りと安定感」を重視したミディアム～ミディアムヘビーコンディション向けだったのに対し、RAPTOR RAIGNはさらにヘビーオイル領域をターゲットに設定。レーン前方の厚いオイルを切り裂きながらも、バックエンドでの持続的かつ攻撃的なドライブを実現しています。

その根幹を支えるのが、MOTIV史上最強の対称コアとして名高いAffliction V2 Coreです。スピードのあるプレーヤーでも十分な転がりを得られ、ミッドから終盤にかけてパワーを蓄積し続けます。この強力な対称コアによって、非対称モデルに見られる過敏さを排除しながらも、強烈なフレアと持続的な曲がり両立。一投ごとに描くラインは太く力強く、それでいてコントロール性能に優れているのが本モデル最大の魅力といえるでしょう。RAIGNではRAPTORシリーズ最高峰の“深いゾーンでの操作性”が加わり、フレッシュな厚いオイルでも滑りすぎず、キャリーダウンが増した後半でもしっかりとレーンを掴み続けます。

結果として、投球ラインを大きく外さずに微調整で対応できる安心感が得られる仕上がりです。

特記事項

レーン変化を読み切り、自らがレーンを支配したい競技者のためのボール。ヘビーオイルでの立ち上がりや、ピン前での持続的な回転エネルギー、力強くも繊細なその挙動は、現代のトーナメントシーンを制するために生まれました。